

「変ぼうと移動」

アシェル・イントレータ

2014年4月17日

終わりの時に起こることで中心的なものは、イエシュア（イエスさま）の再臨です。彼は天の軍勢を引き連れて降りて来られ、神の火で暗闇の勢力を一掃されます。最初の復活を目撃した人たちの魂は、主と一緒に来、新しい身体を受けます。イエシュアは地上で千年紀を始めるために栄光に包まれて、エルサレムに入城します。



その時には、一般的に「携挙」と呼ばれる別の出来事が起こります。この出来事が起こるための3つの主な理由があります。

1. **復活の身体を受け取る**— 最初の復活を目撃した人たちとともに、自分自身を捧げたクリスチャンで、今地上で生きている人たちも、必ず新しい身体が与えられるのです。死ぬのではなく、彼らは復活の身体に変えられるところの瞬間的な変ぼうを経験するのです(第1コリント 15:51-52)。
2. **悪の力による破壊から逃れる**— 御使いがロトの家族をソドムから救い出した理由と似て、イエシュアの軍勢の何人かの御使いは、正しい人たちを焼き尽くす火が来る前に救い出すための遣わされます (マタイ 24:31)。
3. **イエシュアのエルサレムへの歓迎**— 大群衆が「ホザナ」と叫びながら、イエシュアがエルサレムへ再び入城されるのを歓迎します。主をお迎えするため聖徒たちが空中で、下って来られる主と会います。空中に上げられ、移されるために、変ぼうした身体が必要となるのです。(第1テサロニケ 4:16-17)。

天にある、地にある？

何人かの方はこういった「変ぼうし、移された」聖徒たちは天にいるのか、地上にいるようになるのか聞くでしょう。人間の身体として、ある人は地上にあり、天にはいないかも知れません。天に上げられた聖徒の霊は、そこにとどまり、帰って来ないのかも知れません。しかし復活し変ぼうを遂げた身体は、両方にあることができ、その2つを行き来できるのです。

この変ぼうをとげ移される出来事を見るためには、2つの異なった基本的な方法があります。地上から人間を除き、天で土塊でない身体に永遠に住まうことが神さまの第一の目的なのでしょう。それとも、完璧な調和のうちに天と地を一致させ、神の御国を地上に建て上げることがそう

なのでしょう(エペソ 1:10)。私たちは後者であると信じます。なので、私たちは毎日こう祈ります、「御国が来ますように。みこころが天で行なわれるように地でも行なわれますように」-(マタイ 6:10)。

契約を通して人生の意味が分かる



誰か契約の関係にある人と、あなたはどのように時を過ごすのでしょうか。このメッセージで、アシェルは契約がどのように人間関係を保っていくための聖書的なシステムであり、なぜ完全性と忠実であることが契約関係の土台であるかということを説明しています。動画は[こちら](#)をクリック！

ベイト・ナタネルのニュース- ミムナー

ラヘル & ギラッド



去年のヨム・キプールの日、ギラッドと私はとても「自由な」雰囲気の地元のシナゴグに出席しました。結果は、二度とイエシュアにある私たちの信仰について話をするのがないよう言われ、追い出されました。なので、今回そのシナゴグにきてなぜイエシュアを信じるようになったのかを話すように招待されたとき、正直驚きました。

私たちは7分以上話さないようにと言われましたが、とても興味をもってもらい多くの質問を受け、最終的に30分以上話していました。私は宗教的な家庭で育ち、神への愛がありましたが、神はとても遠い存在でした。イエシュアを通して初めて、神さまとの関係が築かれ、神さまはとても近い存在となりました。また、ユダヤ人の間で、メシアが誰であるかということに対する混乱と意見の相違がいかに多いかということを指摘しました。私たちは「聖書の民」なのでから、

真理を知る必要があります。

私が話したあと、ある女性が興味を示したので、その方を私の家に招待し、私たちは夜中の1時まで話しました。私たちは彼女が家族で、過越の最後の日、ミムナーを祝いに私たちの家へ来るよう招待しました。ミムナーとは過越の最終日を祝うための、モロッコの祝宴で、モロッコの民族衣装を着て、1週間の種なしパンの後に、最初の種入りのパンを食べます。どうぞ、ミムナーの日に私たちの家へ、多くの未信者が訪れ、彼等と福音を分かち合うことができますようお願いください。

アグロー・インターナショナルにさらに深く

イラナ & アリエル・ブルメンソール



先週私たちは、イエシュアのため、世界中に対して祈り、手を差し伸べるための戦略的パートナーシップを我々と構築している、アグローインターナショナルからの親愛なる友人と会う特権に恵まれました(<http://www.aglow.org/>)。アグローのようなグループが、世界規模のメシアの身体ネットワークが形成され、メシアニックのレムナント（残された者たち）と正しい関係を築いていくことを主が望んでおられることを感じ取り、もっともっとイスラエルで、私たちのところに来ることを目撃できることは、本当に光栄なことです。私たちは215人のより大きなグループと夜のひと時を共有し、数日後半分の数の方が私たちのミニストリーセンターに1日中残ってくれました。

野生種に対して、異邦人が接ぎ木されるというローマ11章のオリーブの木の不思議と、野生種の枝（信じようとするイスラエル）がもう一度接ぎ木されるための準備を共同ですべてしていくことを強調することにおいて、聖霊様が力強い方法で働いて下さいました。私たちは皆、主がしようとされていることへの望みと期待感で満たされています。主は私たちの心を「輝かして=aglow」下さるのです。

シャヴオットの日をマークしましょう



私たちの第4回年次シャヴオット（ペンテコステ）徹夜祈禱会にご参加ください。2014年6月2日夜（イスラエル時間＝日本では明けて3日）から12時間、ワーシップ、執り成し、生きた聖霊の油注ぎが溢れることを信じます。今回も内容をライブストリーミングでお伝えします。お見逃しのないように。詳細は追ってお知らせします。